

馬路中池・馬路下池 (平の沢池)

(うまじなかいけ・うまじしもいけ)



全景(桜並木)



オニバスの自生

ため池の概要

□ため池の所在地

京都府亀岡市

□ため池の特徴

馬路中池・馬路下池は、江戸時代前期に造られたため池で、両池で14haの農地を潤しています。馬路中池の堤長は307m、馬路下池の堤長は185mあります。

水鳥の飛来、オニバスの自生、ため池湖岸の桜並木など四季折々の姿が見られ、地元では「平の沢池」として親しまれています。

また、平の沢池は京都府内唯一のオニバス自生地とされています。

この景観を楽しむように隣接する市道川東線を「水鳥のみち」としてボードデッキ、休憩が出来る四阿やベンチなどが整備され、オニバスの鑑賞、バードウォッチングや散歩など憩いの場として市民に親しまれています。

関連情報

京都府ホームページ

http://www.pref.kyoto.jp/hanasanpo/hasu_hirano.html

広沢池

(ひろさわいけ)



全景



池畔の桜

ため池の概要

□ため池の所在地
京都府京都市

□ため池の特徴

広沢池は、8世紀頃、洛西地域一帯を秦氏が開墾したときに地域の農業用水とするため、その原型が造られたと伝えられています。

現在の池は、永禄元年(989年)、宇多天皇の孫にあたる寛朝僧正が遍照寺を建立した際に築堤したもので、畔には観音堂、月見堂、鈴殿があったとされています。

築造以来、1000年以上にわたり地域の重要な水源として農業を支えています。

古くから観月の名所として有名で、芭蕉や蕪村、源頼政、後鳥羽法皇など多くの歌人がこの地を訪れ、俳句や短歌が詠まれています。

池畔には桜、カエデ、ヤナギ類が多く、マガモ、ケリ等の鳥類やトンボ類も多くみられます。市街地近郊に水田地帯の生物相が残っている数少ない地域であり、周辺の小学校の「自然観察教室」や「写生教室」などにも利用されています。

池周辺は「歴史的風土特別保存地区」に指定されており、「稲穂実る風景」を次世代に伝えるため、開発等に関する厳しい制限が課されています。

毎年年末には、池の水を完全に抜いてたまった土砂を排出し、池底を直射日光にさらし有機物の分解を行う池干しなどが行われています。

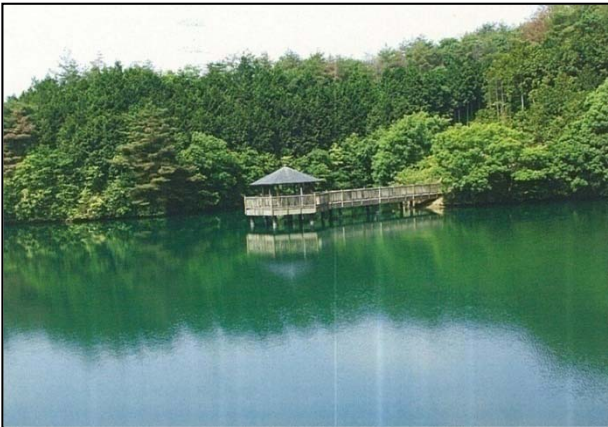
関連情報

大正池

(たいしょういけ)



全景



水辺のレクリエーション施設



ため池の概要

□ため池の所在地

京都府綴喜郡井手町

□ため池の特徴

大正池は、平成の名水百選「玉川」の源流部に位置し、京都府「文化的景観」に選出されている美しいため池で、その規模も京都府最大のものであります。

池周辺には、シカ、イノシシなどの多くの動物が生息し、水辺には源氏ボタルやモリアオガエル、カワセミなどが見られます。

明治大正の近代化政策の下で急速に発展した土木技術を駆使して、大正時代に大正池及び二ノ谷池の2つの農業用ため池が築造されましたが、昭和28年「南山城水害」により両池とも決壊しました。このため、昭和31年から35年にかけて災害復旧事業により、旧二ノ谷池跡地に新しく大正池が築造されました。

平成18年に井手町野外活動センターがオープンし、癒しと交流の空間としてレクリエーション等にも利用されています。

センターを管理するNPOが周囲の草刈り等を行っており、また住民ボランティアや企業が周囲の山林の整備を行っています。

関連情報

八条ヶ池

(はちじょうがいけ)



全景



ため池周辺の霧島ツツジ

ため池の概要

□ため池の所在地

京都府長岡京市

□ため池の特徴

八条ヶ池は、江戸時代初期(1623年)、桂離宮を造営された八条宮智仁親王により、長岡天満宮の祭神である菅原道真公を慰霊するとともに、農業用水の確保と景観を目的として造られました。

現在も、貴重な農業用水源として重要な役割を果たしています。

池は南北に長く、外周は約1kmあり、池を二分している中堤は天満宮の参道として使われています。参道に60mにわたって植えられている樹齢約150年の霧島ツツジは、樹高が2.5mを超え、市の天然記念物になっており、水上橋からは、参道の霧島ツツジ、堤体の桜並木周辺の竹林や長岡天満宮境内の木々を眺められます。

また、中国の寧波市から寄贈された西湖紅蓮というハスや伊豆長岡町から寄贈されたアヤマのほか、花菖蒲、カキツバタといった水生植物が植栽されており、5月から7月にかけて次々と花を咲かせて来訪者の目を和ませています。

八条ヶ池は、長岡京市の中心部に位置し、市のシンボリック施設であり、市民に安らぎと潤いを与える水辺空間として利用されています。

関連情報

佐織谷池

(さおりだにいけ)



全景



佐織谷池に映える安寿姫塚



安寿姫塚宵祭りの風景

ため池の概要

□ため池の所在地

京都府舞鶴市

□ため池の特徴

佐織谷池は、江戸時代前期の築造とされるため池で、海が近く塩分を含む由良川の水は農業に適さないため、現在も下流16haの水田を潤す唯一の水源となっています。

池には、森鷗外の小説「山椒大夫」の「安寿と厨子王」で知られる安寿姫のお墓があります。

安寿姫は佐織谷池のある下東の地で悲運の最期を遂げ、村人がその亡骸を手厚く葬り安寿姫塚としました。祠には、安寿姫の墓とされる宝篋印塔が祀られ、「さんせう太夫」伝説ゆかりの唯一の供養塔として舞鶴市指定文化財に指定されています。

安寿姫の命日には、慰霊祭(宵祭り)が行なわれ、佐織谷池の周りには100個あまりの提灯や1000本のフロートキャンドルが並べられ幻想的な雰囲気醸し出しています。

ため池周辺の里山は、多種多様な動植物の生息・生育の場ともなっています。

関連情報

安寿姫塚夜祭キャンドルイルミネーションホームページ

<http://plaza.rakuten.co.jp/anzyu/>